

札幌保健医療大学教職課程 履修カルテ

学部・学科	保健医療学部 ・ 看護学科
入学年度	()年度入学生
学籍番号	
氏 名	

教職課程 委員会の 確認	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次

札幌保健医療大学養護教諭養成課程(一種)の目的・目標について

本学の保健医療学部看護学科の教育目的・目標、及び養護教諭一種免許状取得課程(以下、「養護教諭養成課程(一種)」という。)の目標を以下に示します。教職課程では、養護教諭養成課程(一種)の目標達成に向けて取り組みます。

【看護学科の教育目的】

大学の理念・目的に則り、「社会人としての人間力を涵養するとともに、看護学とこれに関連する保健医療福祉の幅広い知識・技術を体系的に理解し、看護を実践できる能力、多職種と連携し協働できる能力、さらに将来にわたり成長し続ける基礎的な能力を有する看護専門職者を育成する」ことを教育上の目的としている。

【看護学科の教育目標】

1. 自己の良心と社会規範に従い、自己を統制し、責任ある行動のできる看護専門職者を育成する。
2. 目的に適った情報の収集と論理的な思考・判断を行い、適切に表現できる看護専門職者を育成する。
3. 生命への畏敬の念を抱き、人間の尊厳を守り、人々の多様な価値観を尊重できる看護専門職者を育成する。
4. 人間・環境・健康を体系的に理解し、人間の生活と環境・健康の関係について社会的視点から多角的に捉えることのできる看護専門職者を育成する。
5. 看護の対象となる個人・家族・集団・地域社会の健康課題を多角的に捉え、その人らしい健康生活を送るための支援を考え、実践できる看護専門職者を育成する。
6. 社会と保健医療福祉分野での看護職の役割と責務を認識し、多職種及び関係者と連携・協働できる看護専門職者を育成する。
7. 保健医療福祉の動向を捉え、看護の専門性を探求し、将来にわたり能力向上のために自己研鑽し続ける看護専門職者を育成する。

【看護学科のディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)】

1. 社会の一員として社会規範を守り、自己統制力及び責任ある行動力を身につけている。
2. 情報収集力・論理的思考力・多様な表現力を総合的に身につけている。
3. 生命への畏敬の念を抱き、人間の尊厳を守り、人々の多様な価値観を尊重できる能力を身につけている。
4. 人間・環境・健康に関する知識を活用し、人間の生活と環境・健康に関わる社会的な諸課題を多角的に捉える能力を身につけている。
5. 地域に暮らす生活者を全人的に理解し、看護の対象となる個人・家族・集団・地域社会の健康課題を明らかにし、その解決を図るために必要な実践力の基礎を身につけている。
6. 保健医療福祉を担う看護職の役割と責務に基づき、対象者のQOLの向上に向けて多職種及び関係者と連携・協働できる能力の基礎を身につけている。
7. 保健医療福祉及び看護の発展を志向し、看護職としての専門的能力を継続的に向上させるために必要な能力を身につけている。

本学科の養護教諭の養成では、上記の教育目標に適う看護専門職者としての知識・技術、看護実践力を有し、学校現場において、児童生徒の健やかな成長発達と心身の健康維持・増進に寄与するとともに家庭や地域社会に貢献しうる質の高い養護教諭の育成を行う。

【養護教諭の養成に係る目標】

1. 社会変化への対応力などの基礎となる幅広い教養を身につけることができる。
2. 使命感や教育的愛情など教員としての基本的資質を身につけることができる。
3. 児童生徒の健康課題を把握し、個別のニーズに基づく支援を行うための知識・技能を身につけることができる。
4. 学校保健、養護に関する高度な専門性と高い実践的指導力を身につけることができる。
5. 高いコミュニケーション能力を身につけ、学校教員、他の専門職者と連携・協働して課題解決を図ることができる。
6. ボランティア活動などを通じて、社会貢献の意欲と行動力を身につけることができる。

保健医療大学教職課程の履修カルテについて

1. 履修カルテとは

- ① 履修カルテは、自分が教職課程の授業の中で何を学んだかを振り返るとともに、今後どのような学習が必要なのかを自分で考えるための手掛かりとなるものであり、1年次から4年次の4年間の記録です。
- ② 学生の皆さんは、履修カルテの作成を通して、教員としての資質能力、使命感や責任感、社会性や対人間関係能力、指導力、実践力などを高めることが求められています。
- ③ また、履修カルテは、学生の皆さんが教職課程で学んだ履歴を残すとともに、自らの成長を実感することもでき、さらに、養護教諭になったときにも活用できるポートフォリオとしての機能もあります。このことから、主体的に積極的に履修カルテを作成し、活用することを期待します。
- ④ 履修カルテの作成は、4年次の教職課程最終必修科目である「教職実践演習」の履修要件となっており、養護教諭の資格取得に必須ですので、保管には十分注意してください。

2. 履修カルテの構成と内容

本学履修カルテは、次のような構成と内容となっています。

【履修カルテⅠ：教職関連科目の履修状況等】

・ 履修した科目や実習の中で学んだ成果と課題を記録し、教師としての資質能力向上に活用します。

- 1. 教職関連科目の履修状況一覧
- 2. 教職に関する活動(ボランティア経験等)
- 3. 教職に一部関連すると思われる活動(オープンキャンパス支援経験等)
- 4. 主な教職関連科目の履修記録

【履修カルテⅡ：自己評価シート】

・ 自己評価を通して自己を理解するとともに課題を発見し、教師としての資質能力向上に活用します。

- 1. 自己を理解する(1年次)
- 2. 自己評価をして、教職を目指す上で課題と考えている事項(2,3年次)
- 3. 面談記録・教員からのコメント
- 4. 自己評価シート：振り返りシート(2～4年次)

3. 履修カルテの記入・提出・保管・面接

- ① 履修カルテⅠの記入は、当該の講義や実習等が終了した後に、速やかに行ってください。
- ② 履修カルテⅡの記入は、専任教員の指示に従い、速やかに行ってください。
- ③ 履修カルテは、専任教員の指示や掲示板の連絡に従い、期限を守って提出してください。
- ④ 履修カルテの保管は、各自が責任を持って行ってください。
- ⑤ 履修カルテに基づく面接は、その都度、掲示板等で連絡します。

4. 履修カルテの記入・提出等の時期

	1年次	2年次	3年次	4年次
4月		カルテ返却	カルテ返却	カルテ返却
7月	カルテ説明・記入	カルテ記入	カルテ記入	カルテ記入
8月	カルテ提出→確認	カルテ提出→確認	カルテ提出→確認	
10月	カルテ返却	カルテ返却	カルテ返却	カルテ記入
12月				カルテ記入・評価→提出
2月	カルテ提出→確認	カルテ記入・評価→提出→確認	カルテ記入・評価→提出→確認	カルテの確認→返却

※ 履修カルテの様式は、1年次の説明時(「教職概論」授業内)に配布します。(様式が不足した場合は専任教員へ申し出ること)

※ 上記説明や記入等の連絡は、専任教員による教職関連科目の講義時等に行います。

札幌保健医療大学教職課程 履修カルテ I-2<教職関連科目の履修状況>

1. 教職関連科目の履修状況

区分	授業科目名	開講年次	学期	単位数	修得年度	教員名	評価	テーマ・概要
教育の基礎的理解に関する科目	教育原理	1	後	1				
	教職概論	1	前	2				
	教育制度論	1	後	1				
	教育心理学	3	前	2				
	特別支援教育概論	3	後	1				
	教育課程論	2	前	1				
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育論	2	前	1				
	特別活動・総合的学習指導論	2	後	1				
	教育方法論	2	前	1				
	生徒指導論	2	後	1				
	教育相談論	3	後	2				
教育実践に関する科目	養護教育実習 事前・事後指導	4	通年	1				
	養護実習	4	通年	4				
	教職実践演習 (養護教諭)	4	後	2				
養護に関する科目 衛生学及び公衆衛生学(予防医学を含む。)	疫学	3	前	2				
	生活環境論	2	前	2				
	保健医療福祉行政論	3	前	1				
	保健統計学 I	3	後	1				

区分	授業科目名	開講年次	学期	単位数	修得年度	教員名	評価	テーマ・概要
養護に関する科目	学校保健	学校保健	2	前	2			
	養護概説	養護概説	2	前	2			
	健康相談活動の理論及び方法	健康教育論	2	後	1			
		援助関係論	1	前	1			
	栄養学(食品学を含む。)	栄養代謝学	1	後	2			
		臨床栄養学	3	前	1			
	解剖学及び生理学	形態機能学Ⅰ	1	前	2			
		形態機能学Ⅱ	1	後	2			
	「微生物学、免疫学、薬理概論」	感染免疫学	1	後	2			
		薬理学	2	前	2			
	精神保健	精神看護学概論	2	後	2			
	看護学(臨床実習及び救急措置を含む。)	看護学概論	1	前	2			
		看護技術総論	1	前	1			
		看護技術論Ⅰ	1	後	2			
		看護技術論Ⅱ	2	前	2			
		看護技術論Ⅲ	2	後	1			
		看護基礎実習Ⅰ	1	前	1			
		看護基礎実習Ⅱ	2	後	2			
		成人看護活動論Ⅱ	2	後	1			

区分	授業科目名	開講年次	学期	単位数	修得年度	教員名	評価	テーマ・概要
養護に関する科目	看護学 (臨床実習及び救急措置を含む。)	成人看護活動論Ⅲ	3	前	1			
		成人看護実習Ⅰ	3	後	2			
		成人看護実習Ⅱ	3	後	2			
		小児看護学概論	2	後	2			
		小児看護活動論Ⅰ	3	前	1			
		小児看護活動論Ⅱ	3	後	1			
		小児看護実習	4	前	2			
		母性看護学概論	2	前	2			
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法	法と人権	1	後	2			
	体育	スポーツ理論	1	後	1			
		スポーツ科学と運動	1	前	1			
	外国語コミュニケーション	英語Ⅰ(基礎)	1	前	1			
		英語Ⅱ(会話)	1	後	1			
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報処理	1	前	1			
		情報リテラシー	1	後	1			
	その他教職課程に関連のある科目	学びの理解	1	前	1			
論理的思考		1	前	2				
生涯発達論		1	前	1				
現代社会論		1	前	2				

区分	授業科目名	開講年次	学期	単位数	修得年度	教員名	評価	テーマ・概要
その他教職課程に関連のある科目	生命倫理	2	前	1				
	社会福祉論	2	後	2				

※各授業科目の単位を修得した時点毎に、黒太枠部分を記入してください。

※各授業科目の評価は、学期末毎に事務局から配布される「成績通知書」で確認をしてください。

2. 教職に関する活動(ボランティア経験等)

実施年月日	場所・内容・学んだこと など

※ 「教職に関する活動(ボランティア経験等)」に関するレポート・報告書・写真・図表等を別途貼り付け、またはファイリングする。

3. 教職に一部関連すると思われる活動(オープンキャンパス支援経験等)

期日	場所・内容・学んだこと など

※ 「教職に一部関連すると思われる活動(オープンキャンパス支援経験等)」に関するレポート・報告書・写真・図表等を別途貼り付け、またはファイリングする。

4. 主な教職関連科目の履修記録

科目名	教育原理	開講時期		
教員名		履修年度		単位数
① 学んだこと				
② 今後の課題				

科目名	教職概論	開講時期		
教員名		履修年度		単位数
① 学んだこと				
② 今後の課題				

科目名	教育制度論	開講時期		
教員名		履修年度		単位数
① 学んだこと				
② 今後の課題				

科目名	教育心理学	開講時期		
教員名		履修年度		単位数
① 学んだこと				
② 今後の課題				

科目名	特別支援教育概論	開講時期		
教員名		履修年度		単位数
① 学んだこと				
② 今後の課題				

科目名	教育課程論	開講時期		
教員名		履修年度		単位数
① 学んだこと				
② 今後の課題				

科目名	道徳教育論	開講時期		
教員名		履修年度		単位数
① 学んだこと				
② 今後の課題				

科目名	特別活動・総合的学習指導論	開講時期		
教員名		履修年度		単位数
① 学んだこと				
② 今後の課題				

科目名	教育方法論	開講時期		
教員名		履修年度		単位数
① 学んだこと				
② 今後の課題				

科目名	生徒指導論	開講時期		
教員名		履修年度		単位数
① 学んだこと				
② 今後の課題				

科目名	教育相談論	開講時期		
教員名		履修年度		単位数
① 学んだこと				
② 今後の課題				

科目名	養護教育実習事前・事後指導	開講時期		
教員名		履修年度		単位数
① 学んだこと				
② 今後の課題				

科目名	教職実践演習(養護教諭)	開講時期			
教員名		履修年度		単位数	
① 学んだこと					
② 今後の課題					

科目名		開講時期			
教員名		履修年度		単位数	
① 学んだこと					
② 今後の課題					

科目名		開講時期			
教員名		履修年度		単位数	
① 学んだこと					
② 今後の課題					

教育実習の記録

実習期間	年 月 日() ~ 年 月 日()
実習先	
① 学んだこと	
② 今後の課題	

札幌保健医療大学教職課程 履修カルテⅡ-1<自己評価シート> 関連記述

学籍番号		氏名	
------	--	----	--

1. 自己を理解する(1年次)

①養護教諭を目指す理由(1年次)
③ 自分の性格 【長所】
【短所】

2. 自己評価をして、教職を目指す上で課題と考えている事項

【2年次】
【3年次】

3. 面談記録・教員からのコメント

(1) 年 月 日 面談者:

(2) 年 月 日 面談者: